



国の指定史跡「阿津賀志山防塁」

歴史的風致とは

「歴史的風致」とは、歴史や伝統を受け継いできた人々の活動と、そこにある歴史的な建物と市街地がつくりだす、風情や情緒のことをいいます。

歴史的な建物（ハード）とそこで営まれる人々の活動（ソフト）が一体となった概念です。

○未来へのまちづくり・人づくりへ
この計画策定の中で、国見町の生い立ちや歴史と人々の暮らしまで掘り起こし、国見町に住む私たちの「誇り」を確立することも可能です。そして私たちの住む国見町にさらなる魅力が加わり、輝きを増すよう策定を進めます。



無形民俗文化財の太々神楽

皆さんが知っている、地域の歴史・伝統を教えてください

町では、現在計画策定に向けて、町内の様々な地域の歴史・伝統・習慣の調査を行っています。

皆さんのご存知のことを、ぜひ教えてください。例えば・・・

- ・うちの家には、祖父の時から伝わる古文書がある。

- ・この地区には特有の習慣がある。
- ・何に使用したかわからないが大事に保管されている物がある。

◆連絡先 歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967

○平成26年4月1日 企画情報課に歴史まちづくり推進室が新設されました。
国見町は、国の指定史跡「阿津賀志山防塁」、「石母田供養石塔」、国登録有形文化財の奥山家住宅に代表される歴史的遺産が多数ある自然豊かな町です。これらの「歴史」を活かしたまちづくりを進めるため、4月から企画情報課に歴史まちづくり推進室を設置し、歴史まちづくり計画の策定に取り組んでいます。

○歴史まちづくり計画（歴史的風致維持向上計画）とは
平成20年に施行された「地域における歴史的風致の維持向上に関する法律（略称：歴史まちづくり法）」に基づく計画です。
この計画は国が認定するもので、法律上の特例措置や各種事業による支援が受けられます。東北では弘前、鶴岡、多賀城、白河の4市が認定されています。



国登録有形文化財の奥山家住宅

第1回国見町歴史まちづくりシンポジウム

- テーマ 「歴史を活かした国見町のまちづくり」
- 日時 6月8日(日)午後1時30分から午後5時
- 会場 観月台文化センター 大研修室
- 講師 平井太郎(弘前大学准教授)、杉本洋文(東海大学教授)
- 募集・定員 申込み不要 100人
- 問い合わせ 歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967

歴史まちづくり計画の策定を目指します



締結式で協定書交わす太田久雄町長と遠藤静子学長

4月3日、観月台文化センターで、国見町と桜の聖母短期大学の間で連携協定を締結しました。

今回の域学連携は大学と連携することで、大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の住民やNPOなどとともに、地域の課題解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成を目的としています。

具体的には次のとおりです。

- 「食育」
 - ・幼小中一貫教育のまち
 - ・農業が主産業のまち など
 町の特性を活かし、子どもたちに「食」や「食材」の大切さについて考える場を設けていきます。
- 「産業振興」
 - 平成28年度整備予定の道の駅（仮称：里まち文化ステーション）

で提供する町の特産品や農産物を使用したメニュー開発など産業の振興につなげていきます。

また、ママさん世代を応援するコーナーで、子どもたちとともに子育てを考え、幸せ感をみつけるためのプログラムを開発していきます。

国見町を知る

4月25日に桜の聖母短期大学の学生に国見町を紹介しました。町の歴史や文化、また主産業である農業について町職員から説明しました。今後は連携協定に基づき、特産品やメニュー開発、町の各種イベントへの参加などを通して、地域づくりや人づくりを進めていきたいと考えています。

